

ハルマゲドンの戦い〔要約〕

ヨハネの黙示録16:12~21

- 12 第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。
- 13 また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。
- 14 彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大なる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。
- 15 ー見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いであるー
- 16 こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。
- 17 第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した」と言った。
- 18 すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震があった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほどに大きな、強い地震であった。
- 19 また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。
- 20 島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。
- 21 また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。



(A) ハルマゲドンの戦い
ハルマゲドンの戦いの行われた場所は、地図にあるように、ガリラヤ湖の西30キロメートルのところにあるメギド平野のことです。長さ35キロ、幅25キロの平野です。種々の民族が集まるために造られた円形闘技場のような平野です。ここはいくつかの道路が交差します。エジプトからバビロンあるいはニネベ、エルサレムからダマスコやアンテオケへ行く道路はここを通ります。したがってメギド平野はイスラエルの戦略的な「カギ」です。

(B) なぜ最後の戦いはイスラエルで行われるのか
(1) パレスチナは、各大陸の「回り舞台」です。アフリカ、アジア、ヨーロッパ大陸がおのおの地中海沿岸の地で、世界で最も重要な道路が交差します。

ヨーロッパとインドおよびアジアとアフリカを結ぶ陸路が交差します。また地中海とインド洋を結ぶスエズ運河があります。そして中近東は豊富な石油資源によって極度に重要な地位を占めるようになりました。今から50年のうちに合衆国の油田は採油しつくされますが、中近東(イラク、イラン、アラビヤ)それにパレスチナでは新しい油田が発見され、それが非常に重要になってきています。

(2) イスラエルが建国しています

(3) ハルマゲドンの戦いは地上のすべての国が出陣します。
第2次世界大戦の終わりに、私達は世界のすべての軍隊が一致団結してドイツを攻撃した様子を見てきました。北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、インド、ロシアがドイツ1国のために集められました。白色人種、黄色人種、黒人が集められました。ハルマゲドンの戦いは第2次世界大戦以上の戦いです。

(4) 反キリストの支配下になるローマブロック、西欧ブロック、ヨーロッパ、アメリカ
反キリストの共謀者である10人の独裁者たちおよび、すべての同盟軍とともに、イエス・キリストに向かって戦いを挑んでいきます。悪霊が全世界から軍隊を集めてきます。

(C) 第6の鉢の裁き
黙示録 16:12 第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった
「日の出る方」=「東の方」=「オリエント」=「メソポタミヤ」
川の水を枯らすことによって反キリストの軍隊の進軍しやすくした。
黙示録 16:13 また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。

黙示録 16:14 彼らはしるしを行なう悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。
「竜」＝「サタン」 「獣」＝「反キリスト」「偽預言者」「3つの悪霊」
「神の大いなる日」＝「ハルマゲドンの戦い」

黙示録 16:15・・・見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物をつけ、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである。・・・
黙示録 16:16 こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。ハルマゲドンと呼ばれるところ。メギド平野。これは場所の名前です。

(D) 第7の鉢の裁き

黙示録 16:17 第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した。」と言った。
鉢を空中にぶちまけた。サタンは空中の権威を持っている。「大きな声」＝「神様の声」

黙示録 16:18 すると、稲妻と声と雷鳴があり、大きな地震があった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほど大きな、強い地震であった。
黙示録 16:19 また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の町々は倒れた。そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。
「大きな都」＝「エルサレム」・・・神様はオリーブ山の上に立たれる。
オリーブ山はエルサレムの東にあります。

黙示録 16:20 島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。
千年王国のためにエルサレムは再生されます。

黙示録 16:21 また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。
「1タラント」＝「45キロ」・・・神の怒りがいかに激しいか。

黙示録 19:19 また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。
黙示録 19:20 すると、獣は捕えられた。また、獣の前でしるしを行ない、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拜む人々とを感わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕えられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きてままで投げ込まれた。

結論
聖書の預言からすると、中東和平のための今後のどんな努力も、当分の間は功を奏しません。なぜなら聖書には、将来西ヨーロッパから、1人の傑出した指導者が現れ、その人物によって初めて中東紛争に一時的な終止符が打たれると預言されているからです。将来、西ヨーロッパにできあがる十カ国連合勢力の指導者が反キリストなのです。反キリストがいかに偉大な指導者かということがお分かりいただけだと思います。その反キリストをイエス・キリストはまるで猫の子をつかむようにつかみ、硫黄の燃えている池に生きてまま投げ込まれたのです。イエス・キリストがどれほど偉大な神様であるかがお分かりだと思います。

創世記 2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。
・・・この神様の1つの命令をまもれば
(1) 神様と親しく交わることが出来る (2) 隣人を愛することが出来た
(3) 経済問題は何もなかった (4) 病気もなかった (5) 死もなかった

創世記 3:5 あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。
サタンのこの誘惑に負けて神様の命令を破ることによって・・・
(1) 神様と親しく交わることが出来なくなりました (2) 隣人を愛することが出来なくなりました
(3) 経済問題が大変になりました (4) 病気問題が大変になりました (5) 死はどうすることもできません

しかし私にとって1番の敗北は、サタンに負けているということです。
(1) 創造論は進化論に負けています。 (2) キリスト教はほかの宗教に負けています。
(3) キリストを信じている日本人は1パーセントもいません。
(4) クリスマスもキリストを伝えても多分信じてくれないのではないかと考えています。

黙示録 20:1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から下って来るのを見た。
黙示録 20:2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、
黙示録 20:3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を感わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。

イエス様がサタンと戦って勝利されるのではなく、天使に命令して、サタンを底知れぬところに投げ込んで、そこを閉じて、その上に封印しておきなさいと命令されて、サタンはその知れぬところに投げ込まれて、閉じ込められたのです。イエス・キリストはサタンに対して圧倒的な勝利者です、イエス・キリストが圧倒的な勝利者であると信じていますか。
「世人は敵に、破らるるとも、我らは常に勝利。
けがれを憎み、罪に打ち勝ち、我らは常に勝利。
我らは常に勝利、勝利。我らは常に勝利。
世に勝ちませる主ともませば、我らは常に勝利。」

賛美していきましょう。